

## 「高浜市誌編さん5年間のあゆみ」

### ① 高浜市における町誌・市誌編さんのあゆみ

- ・高浜町誌から高浜市誌資料の発行まで

発行年月	名称
昭和41年(1966)5月	高浜町誌 第一巻
昭和51年(1976)3月	高浜市誌 第二巻
昭和57年(1982)4月	高浜市誌資料(一)～(六)
昭和60年(1985)10月	高浜市誌資料(七)
平成元年(1989)3月	高浜市誌資料(八)

### ② 新たな高浜市誌『高浜市のあゆみ』の基本方針

#### 1. 編さん期間

平成28年度～令和2年度（印刷は令和3年度に実施）

#### 2. 編さんを行う上での大きな柱

1. 市制施行以降のあゆみを重点的にまとめます。
2. まちのあゆみをわかりやすく、活用しやすい形でまとめます。
3. 資料等が散逸・消失しないよう、整理・保存を進めます。
4. 「たかはま大好き」「住んでいるまちをより良くしたい」の想いを高めていきます。

#### 3. 『高浜市のあゆみ』の主な内容（令和3年2月末現在）

##### 第1編 わたしたちの“まち”

- 第1章 高浜市のすがた
  - ・第1節 高浜市の位置と沿革
  - ・第2節 人口・行政
  - ・第3節 産業
  - ・第4節 周辺都市との交通・交流
- 第2章 個性あられる五つの地区
  - ・第1節 高浜小学校区のあらまし
  - ・第2節 吉浜小学校区のあらまし
  - ・第3節 高取小学校区のあらまし
  - ・第4節 港小学校区のあらまし
  - ・第5節 翼小学校区のあらまし

##### 第2編 高浜のあけぼの

- 第1章 先史・古代の高浜
  - ・先史・古代総論
  - ・第1節 猿投-境川断層と高浜撓曲崖
  - ・第2節 海水準変動と連動した縄文貝塚の盛衰
  - ・第3節 “ころもがうら”の塩づくり
- 第2章 中世の高浜
  - ・中世総論
  - ・第1節 平安・鎌倉時代の志貴荘と高浜市域
  - ・第2節 室町時代の熊野信仰と高浜市域
  - ・第3節 室町末期の乾坤院・春日神社と高浜市域
  - ・第4節 戦国・織豊期の領主と高浜市域
  - ・第5節 中世高浜の宗教-地域民衆の仏教信仰

### 第3編 時代をあゆむ

- 第1章 近世の高浜
  - ・近世総論
  - ・第1節 高浜湊の様相
  - ・第2節 三州瓦と高浜
  - ・第3節 村の様相
  - ・第4節 土地の開発と争い
  - ・第5節 高浜の文化と信仰
  - ・第6節 幕末・維新と市域
- 第2章 近代の高浜
  - ・近代総論
  - ・第1節 高浜港と瓦業-近代産業への対応-
  - ・第2節 地域の変化
  - ・第3節 戦争と高浜

### 第5編 まちを語る

- 聞き書きとは
- 第1章 高浜の産業
  - ・第1節 窯業
  - ・第2節 瓦産業
  - ・第3節 養鶏
- 第2章 高浜の暮らし
  - ・第1節 衣・食・住
  - ・第2節 遊び・学校・社会活動
  - ・第3節 戦争・災害
  - ・第4節 祭り

### 第6編 守り、伝える

- 文化財総論
- 第1章 守り、伝える「モノ」
  - ・第1節 建造物
  - ・第2節 彫刻
  - ・第3節 絵画・書跡
- 第2章 守り、伝える「コト」
  - ・第1節 吉浜細工人形と菊人形・花のとう
  - ・第2節 高浜のまつり

### 第4編 未来をつくる“挑戦”-現代の高浜-

- 現代総論
- 第1章 戦後期の社会と経済の大変革
  - ・第1節 農地改革の進展
  - ・第2節 産業界の動向
- 第2章 都市化の進展とまちの変貌
  - ・第1節 人口動向からみた高浜
  - ・第2節 計画行政の進展と市政改革
  - ・第3節 市街地の拡大と都市基盤整備
  - ・第4節 これまでの教育行政と未来を育む教育の実践
  - ・第5節 自然災害と防災への取り組み
- 第3章 高浜を象徴する地場産業
  - ・第1節 多様な農業の展開
  - ・第2節 水産業の動き
  - ・第3節 戦後以降の瓦産業
  - ・第4節 窯業に関連する様々な産業
  - ・第5節 市外からやってきた人々
  - ・第6節 窯業は瓦だけではない
- 第4章 商業・観光・食
  - ・第1節 商店街がにぎわった時代
  - ・第2節 大規模店の登場と郊外の発展
  - ・第3節 観光名所の登場とにぎわい
  - ・第4節 地域資源の掘り起こしと観光への展開
- 第5章 福祉・保険医療
  - ・第1節 「福祉でまちづくり」へのあゆみ
  - ・第2節 生活環境を向上させる施設と市民の取り組み
- 第6章 市民主体のまちづくり
  - ・第1節 高浜をつくってきた組織
  - ・第2節 地域資源を活かしたまちづくりへ
  - ・第3節 協働を推進したまちづくり協議会
  - ・第4節 「大家族たかはま」をめざして



※こちらの原稿は編集前のもので、

### ③ 資料の調査・整理

#### 1. 郷土資料館所蔵資料の再整理

文章執筆の基礎資料とするため、主に高浜市立郷土資料館所蔵の考古資料・文献資料の再整理を行いました。



#### 2. 市内外での資料調査

『先史・古代・中世』『近世・近代・現代』『生活誌』『文化財』という部会に分かれ、部会や時代単位での資料調査を行いました。

##### 【先史・古代・中世部会】



▲H29.8.4 刈谷市遺跡出土遺物調査



▲H31.3.14 寿覚寺所蔵資料調査

##### 【近世・近代・現代部会】



▲H30.3.6 養鶏組合に関する資料調査



▲H30.12.16 春日神社所蔵資料調査

【生活誌部会】



▲H29.9.2 高取の暮らしに関する聞き書き



▲H30.7.21 窯業に関する聞き書き

【文化財部会】



▲H30.6.16 田戸社所蔵資料調査



▲H30.8.20 鬼源工場の調査

④ 編さん過程で得た情報の発信

1. 市誌編さんだより

平成29年1月1日号の市広報から、奇数月に連載を開始しました。



## 2. たかはまアーカイブ

平成30年4月1日号の市広報から、裏表紙に連載を開始しました。



## 3. 「タカハマ！まるごと宝箱」との連携

平成29年度	日	テーマ	発表者等
34	29.4.8	稗田川について語ろう！	荒川 昭治
35	29.5.27	高浜の本町通りを語ろう！	小俣 久江
36	29.7.22	郷土資料館に眠るたからもの ～高浜市誌編さんの現場から～	小島 逸男
37	29.9.24	座談会『吉浜の養鶏 ―これまでとこれから―』	名古屋市立大学
38	29.11.3	菊人形をめぐる旅 歴史と今	伊藤 加奈子
39	30.2.3	チャラボコの音色に誘われて	浅岡 菊雄
40	30.3.24	平成29年度 高浜市誌編さん成果報告会 ～聞き書き調査～	名古屋市立大学
平成30年度	日	テーマ	発表者等
41	30.6.10	歴史を活かしたまちづくり -高浜市誌編さん事業から-	日本福祉大学教授 曲田 浩和
42	30.8.18	資料から見つける高浜の歴史と文化	小島 逸男
43	30.10.27	航空写真からみる高浜市のうつりかわり	日吉 康浩、小島 逸男
44	30.12.8	・生活誌部会聞き書きプロジェクト成果報告会「高浜のやきもの産業とくらし」 ・たかはま 歴史まちづくりシンポジウム①『「窯業のまち・たかはま」の産業風土とまちづくり』	
45	31.2.16	高浜の平成30年間を振り返る	山本 久美、東 文彦
令和元年度	日	テーマ	発表者等
46	R1.6.22	戦国時代から明治に生きた人々のくらし -高浜編-	小島 逸男
47	R1.9.14	戦国時代から明治に生きた人々のくらし -吉浜・高取編-	小島 逸男
48	R2.1.18	令和元年度 高浜市誌編さん成果報告会 ～聞き書き調査～	名古屋市立大学
49	R2.2.8	たかはま 歴史まちづくりシンポジウム②「近代における高浜の“やきもの”-瓦・土管・日用土器-	

※令和2年度はコロナウイルスの関係で実施していません。

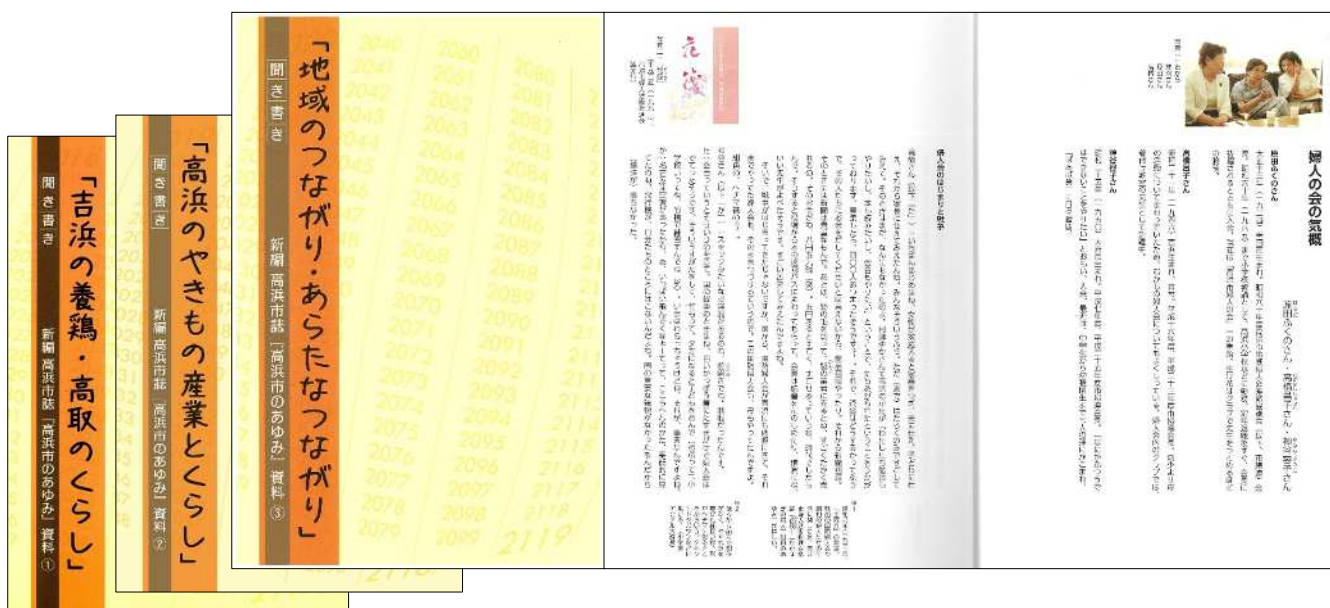
## 4. たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム

平成30年度より、市誌編さんの中間報告及び市の歴史・文化を発信する場として、かわら美術館を会場として開催しています。

- 第1回：平成30年12月8日(土) 「窯業のまち・たかはま」の産業風土とまちづくり  
 第2回：令和2年2月8日(土) 近代における高浜の“やきもの”-瓦・土管・日用土器-

## 5. 『高浜市のあゆみ資料』の発行

『高浜市のあゆみ』本編の内容について、より深く追求した事柄や、掲載しきれなかった内容を収録した別冊資料を作成しています。第1弾を平成30年に発行し、現在第4弾を作成中です。



- ① 『吉浜の養鶏・高取のくらし』平成30年発行  
吉浜地区の養鶏、高取地区のむかしのくらしについての聞き書きを収録しています。
- ② 『高浜のやきもの産業とくらし』平成31年発行  
高浜地区において、瓦や土管といった窯業に関わってきた方の聞き書きを収録しています。
- ③ 『地域のつながり・あらたながり』令和2年発行  
婦人の会、青年団、そして高浜市でくらすニューカマーの方々の聞き書きを収録しています。

## 6. 市内でのミニ展示

市誌編さんで掘り起こされた資料を活用しながら、市民のみなさんへ高浜市のあゆみをお伝える機会として、郷土資料館及びたかぴあでミニ展示を企画しました。

- ・第1弾 「町から市へ ～高浜市の誕生をふりかえる～」

期間：令和2年9月5日(土)～ 開催中

場所：高浜市立郷土資料館



- ・第2弾 「写真でふりかえる、市制がしかれたころの高浜」

期間：令和3年2月27日(土)～ 開催中

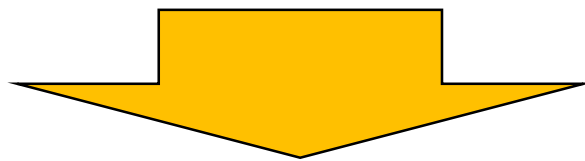
場所：たかぴあ



## ⑤ 高浜市のあゆみを“つむぐ・つなぐ”

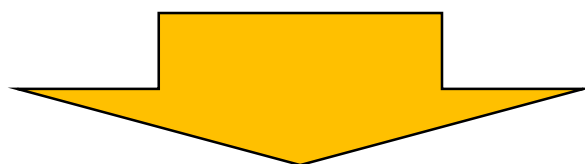
### ★市誌編さん(平成28年度～令和2年度)の成果

1. 過去の高浜市誌発刊から今現在まで、約40年間のあゆみを重点的に記録することができました。また先史から現代まで、このまちでどのようなヒト・モノ・コトの動きがあったのかを1冊で概観できるというツールを整えることができました。
2. 何もしなければ失われつつあった貴重な資料を調査・整理することで、このまちを語るうえで欠かせない貴重な財産の散逸・消失を食い止めることができました。
3. 『高浜市のあゆみ資料』『たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム』『市誌編さんだより(市広報)』『たかはまアーカイブ(市広報)』におけるアウトプットにより、市民のみなさんへ高浜市のあゆみ・自慢を伝え、まちへの想いを高める一助とすることができました。
4. 市内文化施設(たかぴあ等)においてミニ展示を実施し、様々な場所でまちのあゆみに触れることができるきっかけづくりを行いました。



### ★令和3年度以降に向けての課題

1. 高浜市の歴史をつむぎ、つなぐための人づくり
2. 市民同士が学び合い、高め合う機会の創出
3. 生涯学習やまちづくりのツールとしての『高浜市のあゆみ』『高浜市のあゆみ資料』そして、郷土資料の積極的な活用
4. 文化行政全体(かわら美術館、図書館、文化財保護)の連携
5. つむぐ・つなぐ作業の継続(蓄積)と発信

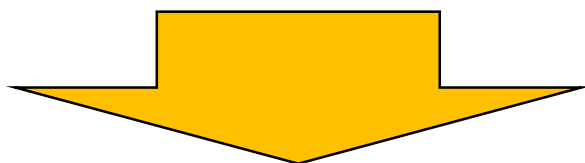


## ★令和3年度以降の事業・テーマ

事業名：『たかはま 歴史・文化保存活用事業』

目指すこと：

- ① 市民のみなさんが持っている知識・特技・経験等を活かせる機会があふれている
- ② 市内のいたるところで「学び合い・語り合い」の輪が広がっている



## ★柱となる取り組み（令和3年度）

1. 『高浜市のあゆみ』の内容をアウトプットする「市誌を読む会」を開催します。  
⇒【人づくり】【機会の創出】【あゆみ・あゆみ資料の活用】
2. 市のあゆみを絶えず後世に伝えていくため、新たな資料の掘り起こしや記録を継続して進め、『高浜市のあゆみ資料』を通してその成果を発信していきます。  
⇒【継続(蓄積)と情報の発信】
3. 市誌編さん事業で整理した資料を、市内での展示等に活用し、様々な場所で、まちのあゆみに触れることができる環境づくりを行います。  
⇒【機会の創出】【郷土資料の活用】【文化行政全体の連携】
4. まちのあゆみに関する学びを深め、同時に様々な見方・考え方に触れる、「たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム」を開催します。  
⇒【機会の創出】

～ 私たちの愛するまちを、未来へつなげていくために ～